

堀病院

東手城ヘルスケアモール内に 小児科・アレルギー科を開院

アレルギー学会専門医が常駐

全国でも珍しい感覚器中心の専門病院を抱える医療法人徹慈会堀病院（福山市沖野上町、宇高毅理事長、<http://horior.jp>）は10月7日、東手城ヘルスケアモール（同市東手城町1-3-11）内に「小児科・アレルギー科 東手城クリニック」（電話番号：084・971・7654）を開院。同モール内で2011年に開院した耳鼻咽喉科の分院「東手城医院」から独立し、小児科・アレルギー科に特化して、男女ふたりの小児科専門医が外来で診察や治療を担当する。

近年、アレルギー由来の鼻炎や皮膚炎などが以前より多くなっており、低年齢化も進んでいるという。そこで、県東部では珍しいアレルギー学会専門医で小児科学会専門医の板野稔子医師Ⅱ写真Ⅱを招へいした。

同院内には診察室2部屋と処置室、授乳室、感染室（発熱外来で出口は別）、キッズルームなどがあり、花粉や食物、動物など41種類のアレルギー物質がスクリーニングできる機器「ドロップスクリーン」を導入している。1滴の血液から約30分で結果が出ることから、幼児でも検査が容易だ。

板野医師は帝京大学医学部を卒業後、都内や関東圏で大学病院・市中病院・ク



リニックなどに勤め、2019年より日本鋼管福山病院小児科で勤務。喘息や花粉症などのアレルギーに対し、近年臨床応用されてきた舌下免疫療法にも取り組んできた。「父親が外科医（板野外科元院長、福山市御船町）でしたが、私は子どもと接することが好きだったため、小児科を選びました。喘息などのアレルギーに苦しむ子ども達を救いたくて、アレルギー専門医になりました」と話す。

診療時間は午前9時―正午、午後3時―6時で、木・土曜日の午後と日曜・祝日が休み。

堀病院は1976年に耳鼻咽喉科医院として開業し、2011年に同モール内に分院を開院。15年に眼科、19年に内科を院内に開設し、20年同モール内に「形成外科・皮フ科 東手城クリニック」、22年同市春日町に「春日クリニック（整形外科リハビリテーション科）」、23年同モール内に「東手城にこここ接骨院」を開院している。